

各部会報告資料

- ・子ども部会(P1)
- ・就労部会(P2)
- ・相談支援部会(P3~4)
- ・精神障がい者地域移行支援部会(P5)

平成29年8月18日

熊本市障がい者自立支援協議会

平成 29 年 8 月 18 日

平成 29 年度 第 2 回熊本市障がい者自立支援協議会
子ども部会活動報告

【今年度の活動状況】

開催月	活 動 内 容
4 月	○ミニ研修「障がい者自立支援協議会について：熊本市障がい保健福祉課」 ○部会活動内容についての検討
5 月	○部会の今年度活動スケジュールについて（検討と確認） ○余暇支援マップの情報更新作業（「文化」「スポーツ」「親の会」に分かれ、情報の追加・修正等再確認作業）
6 月	○第 1 回障がい者自立支援協議会本会議の報告について ○事例検討（事例提供：発達協働センターよりみち）
7 月	○ミニ研修「養護施設及び乳児院における障がい児等の現状と課題について（平成 30 年度改正に伴う保育所等訪問支援事業対象拡大にむけて）」 養護施設「慈愛園 子供ホーム」、乳児院「熊本乳児院」より講話と意見交換
8 月	○事例検討（事例提供：熊本市障がい者相談支援センター いんくる） ○「余暇支援マップ」第 1 稿修正

【今後の活動予定】

今年度後半も活動計画に沿って、ミニ研修会と事例検討会を実施し、地域における更なる資源の開発や改善の取り組みが必要な事柄や本会議で共有すべき課題について整理を行っていく。また、熊本地震後の情報の変更等に対応する「余暇支援マップ（更新版）」の完成に向けて取り組む。

9 月	ミニ研修「移行支援シート運用の実際と巡回相談員の役割について」 ：熊本市総合支援課
10 月	事例検討（事例提供：熊本市障がい者相談支援センター じょうなん）
11 月	ミニ研修「第 5 期障がい福祉計画と第 1 期障害児福祉計画（案）について」 ：熊本市障がい保健福祉課
12 月	事例検討（事例提供：済生会熊本福祉相談支援センター）
1 月	ミニ研修「愛着障害について」：尾道 幸子 氏（熊本市手をつなぐ育成会）
2 月	事例検討（事例提供：熊本市障がい者相談支援センター ウィズ）
3 月	余暇支援マップの情報更新作業・次年度の活動計画について

平成29年8月18日

平成29年度 第2回熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会報告

今年度の取組について（案）

【目標】

- ・ 就労についての課題意識を共有するための連携
- ・ 誰もが参加しやすくなじみやすい就労部会

【部会全体の取組】

- ・ ミニ研修の開催（毎月開催）
- ・ 就労フェアの開催（12月8日）

【各班の取組】

□ 当事者対話班：当事者会メンバーと協力し、就労についての対話の場をつくる

※夕方フラットやおでかけフラットを開催している

※当事者発信の研修会を企画中

□ 企業就労班：一般企業への就労の可能性を考える

※雇用啓発冊子「しごといく Vor.6」を作成

※企業向け研修会や障がい者サポート企業の表彰式などを企画中

□ 福祉就労班：工賃向上や仕事づくりと事業所同士の連携

※はーとアラウンド熊本と熊本市と協同し販売会を開催する

□ be-スケッチ班：就労部会の各班や事務局をサポートする

※ホームページの更新

運営委員会での取組

- ・ 部会長、副部会長、各班のリーダー、サブリーダー、事務局で構成
- ・ 部会の活動内容を具体化し、方向性を決める
- ・ 部会の中で吸い上げた参加者の意見やリーダーの意向等を協議し（検討）審議（決定）する

平成 29 年度 第 2 回熊本市障がい者自立支援協議会
相談支援部会報告

□全体目標

- ・障がいを持つ方の支援を行う中で見えてくる生活ニーズを明らかにし、その中にある課題の集約や整理を行うと共に、改善策等を検討し、障がいを持つ方がより安心して地域で生活できる環境を整備していく。
- ・地域の障がいを持つ方を支援する相談支援専門員が抱える課題を集約・整理し、改善を行っていく。また、相談支援専門員のスキルアップと共にお互いに支えあえるフォローアップ体制を整えていく。

□全体の取組状況等

今年度は部会を大きく 5 つに分け、各班（①インフォメーションアップデート班②計画見直し班③事例検討班④ガイドライン班⑤新規事業所フォローアップ班）でそれぞれ年間スケジュールを立てて活動している。部会開催前に各班のコアメンバーを中心とした運営委員会を開催し、班ごとの進捗状況の確認や活動が行き詰っていないか等の確認作業を行っている。原則として毎月 1 回 2 時間の枠で開催をしているが、状況によっては時間枠を拡大し開催している。7 月には班ごとの活動以外に事例検討会を全体で行ったため、時間を拡大し対応した。また、今年度より自立支援協議会本会議の内容についても部会員に広く状況を周知するために報告を行うよう対応している。

□各班の取組状況等

【インフォメーションアップデート班】

- ・アストライ山田氏に協力頂き、様々な情報集約・共有システムである「K P 5000」を更に活用できるよう「ユーザーズマニュアル」を使用し、実際の活用方法について説明を頂くための準備作業を行う。
- ・「相談支援ハンドブック」の見直し作業を行うと共に参考資料としてアセスメントシートを追加する予定。

【計画見直し班】

- ・サービス等利用計画書式を新たに作り直したもの（使用に関しては各事業所任意）の使用状況等についてアンケート等を通して実態把握を行う。

【事例検討班】

- ・今年度 2 回の事例検討会を予定。初回を 7 月に実施。野中式事例検討の方式を採用し相

談支援部会員全員で行う。実施した上での状況等を踏まえ次回 10 月に行う事例検討に向けて再度ブラッシュアップを行う予定。

【ガイドライン班】

- ・ サービス等利用計画作成時のモニタリングの算定について、相談支援事業所に実態調査のアンケートを実施。その回答を受けて毎月ないし、頻繁に自宅訪問等を行っているケースの傾向を分析。分析結果を踏まえて「サービス等利用計画作成におけるモニタリングに関する提案書」（※別紙）を作成。本日自立支援協議会本会議の委員の皆様にご案内し、最終的な要望書として市に提出したい。

【新規事業所フォローアップ班】

- ・ 概ね指定特定相談支援事業所を立ち上げて 2 年以内の事業所にこのグループに所属してもらい、日々の困りごと等について先輩相談支援専門員から助言をもらう。ここで得た Q & A を蓄積していき、先々は K P 5000 への掲載をし、相談支援事業所で共有したり、先々事業所を立ち上げた相談支援専門員が活用できるよう検討している。4 月に新規指定特定事業所に対しアンケートを実施して、現在はそれを元にディスカッション方式で答えを出している。

平成 29 年度 第 2 回熊本市障がい者自立支援協議会
精神障がい者地域移行支援部会（障がい者自立生活体制検討会）報告

【これまでの取り組み】

5 月の部会で今年度の事業内容と実施体制・課題・目標を共有し、以下を実施。

今年度の目標と取り組み：

- ・退院支援制度の周知・啓発（啓発ツールの作成、病院職員研修の実施）
- ・退院支援制度の活用と検証（地域相談支援の対象者を各区で上げる）
- ・区毎の取り組みとの連携と情報共有

○普及啓発研修の実施

開催日	テーマ・講師等
6 月 9 日	・「事例を通じた地域移行支援のポイントについて」 障がい者相談支援センターウィズ 大関宏治 氏 地域体制整備アドバイザー 大島高昭 氏
7 月 4 日	・厚生労働省 会議報告 「平成 29 年度精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築担当係長等会議」 ・病院職員研修報告 窪田病院職員研修の紹介、制度啓発・研修企画についてのグループワーク

○区毎のロードマップに基づいた取り組みの進捗確認

区毎のグループワークを行い、ロードマップの内容と昨年度までの取り組みの進捗状況を共有した。

○ポスター・リーフレットの作成（作業班の設置）

退院支援制度を啓発するためのポスター及びリーフレットの作成を作業班で行うこととした。各区の医療機関の代表者及び事務局にて原案を作成し、ピアサポーターや部会から意見聴取後、12 月に完成し、精神科病院・相談支援事業所・区役所等に配布予定。

【今後の予定】

○普及啓発研修

- ・相談支援事業所の業務・役割について（委託及び指定相談支援事業所）
- ・ピアサポートの活用についての実践報告、ピアサポーターとの意見交換

○区毎のロードマップに基づいた取り組みと進捗報告（定期的に実施）

○第 5 期障がい福祉計画の成果目標に関する協議

○地域相談支援の事例経過報告（マニュアル作成に向けて）